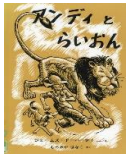
2025年　しぶやおすすめの本50　小1・2年リスト

表紙をクリックすると本がどこの図書館にあるかわかります。予約もできます。

＊は新しく選ばれた本です

	書　名（小1・2向）	著者	内容紹介
1	 あおい目のこねこ	エゴン・マチーセン	あおい目のこねこは、ねずみのくにをみつけにでかけました。さかなにきいても、はりねずみにきいても、ほかのねこにきいてもわかりません。こねこはねずみのくにを、みつけられるのでしょうか？
2	 あくたれラルフ	ジャック・ガントス	セイラのねこ、ラルフはほんとうにあくたれ。セイラがのっているブランコの枝（えだ）をきったり、パーティーで出されたクッキーをぜんぶ一口ずつかじったり。とうとう家族（かぞく）みんながはらをたて、ラルフはサーカスで はたらかされることになりました。
3	 ああ、たいくつだ！	ピーター・スピアー	ああ、たいくつだ！ひまをもてあましたきょうだいがなやで見つけたのは大きなプロペラ。それから二人は家中（いえじゅう）のものをかきあつめた。シーツにペンキ、しゃりんやかきね、車のエンジン、おまけにまど。ぜんぶつかってとんでもないものを作っちゃった。
4	 アンディとらいおん	ジェームズ・ドーハーティ	アンディは図書館（としょかん）からかりたライオンの本をむちゅうでよんでいました。あたまの中はライオンでいっぱい。するとよくじつ、学校にいくとちゅうでほんもののライオンにであってしまいます。ライオンの足には太いとげがささっていました。
5	 ＊エリザとさくらのものがたり	小手鞠 るい	明治時代(めいじじだい)にアメリカから日本にきたエリザは、まんかいのさくらを目にしました。日本からアメリカにかえったエリザは「うつくしい日本のさくらをワシントンDC（でぃーしー）にもうえることができたらどんなにすてきだろう。アメリカと日本ももっとなかよくなれるかもしれない」とゆめ見るようになり…。
6	 エルマーのぼうけん	ルース・スタイルス・ガネット	エルマーがまだ小さかったころ、つめたい雨（あめ）の日に年とったノラねこにであいました。エルマーはそのノラねこから、どうぶつじまにとらえられているかわいそうな竜（りゅう）の子のはなしをきいて、たすけに行こうとけっしんします。

	書　名（小1・2向）	著者	内容紹介
7	 おおきくなりすぎたくま	リンド・ワード	ジョニーの村（むら）では、どこのなやにもたいてい、くまのけがわがほしてあります。しかしジョニーのうちにはありません。そこで、森（もり）にくまをみつけにでかけましたが、ジョニーがみつけたのは、くまはくまでもこぐまでした。
8	 ＊おちびさんじゃないよ	マヤ・マイヤーズ	からだがちいさくて、みんなから「おちびさん」とよばれているテンちゃん。でも、なんだってできるテンちゃんは、じぶんでは「おちびさんではない」とおもっています。そんなあるひ、テンちゃんよりもちいさい（かもしれない）マルくんというてんこうせいがやってきました。マルくんがいじめっこにねらわれているのをみたテンちゃんは…。
9	 おっきょちゃんとかっぱ	長谷川　摂子	おっきょちゃんがうらの川であそんでいると、かっぱのガータロがよんだ。「おまつりのおきゃくさんになれや」「うん、行く」きものにきがえてついたところは、かっぱの国（くに）。水のそこのおまつりは、とってもたのしかった。
10	 かえるをのんだととさん	日野　十成	あるひ、はらがいたくなったととさんは、かかさんにいわれて、おてらのおしょうさんにどうすればいいかききにいきました。するとおしょうさんは、はらのなかにいるむしのせいだから、かえるをのむといいとおしえてくれました。そこでととさんはかえるをつかまえてのみますが…。
11	 かもさんおとおり	ロバート・マックロスキー	かものマラード夫婦（ふうふ）は、ボストンの町にながれる川のなかすにすをつくりました。ある日、マラードおくさんはうまれた8羽（わ）のひなをつれ、つぎの子そだてのばしょへ。さあ、車のおおい道をわたれるでしょうか？
12	 かわ	加古　里子	高（たか）い山につもった雪（ゆき）がとけ、小さなながれになる。ながれはたきになり、谷川（たにがわ）となって山をくだる。とちゅう、ダムでてんきをおこしたり、にもつをはこんだり。いろいろなはたらきをしながら、川はだんだん広（ひろ）く、ゆるやかになっていく。そしてついに…。

	書　名（小1・2向）	著者	内容紹介
13	 ガンピーさんのふなあそび	ジョン・バーニンガム	ガンピーさんが、ふねにのってでかけました。とちゅうでうさぎ、ねこ、いぬ、ぶた、ひつじ、にわとり、こうしやぎが、いっしょにいくとのりこみます。はじめは、みんななかよくのっていましたが、そのうち、こうしがどしんどしんあるきまわり、いぬがねこをいじめ、ねこがうさぎをおいかけ…。さて、どうなるでしょう?
14	 こぎつねコンチ	中川　李枝子	こぎつねのコンチは、お母さんのエプロンについているような大きなポケットを作ってもらいました。ところが、大きすぎてコンチのふくからはみだしてしまいます。そこで、お母さんがよいことをおもいつきましたよ。
15	 こすずめのぼうけん	ルース・エインズワース	はじめて飛（と）んだこすずめは、じょうずに飛べたのでうれしくなりました。これならどこまでも飛べる！こすずめはお母さんの言（い）いつけをまもらずに飛びつづけましたが、だんだんつかれてきました。どこかでとまって休（やす）まなくてはなりません。
16	 これがほんとの大きさ！	スティーブ・ジェンキンズ	ゴリラの手はどれくらい大きいの?ワニの口は、ほんとに大きいの?トラのかおはどんな大きさ?あざやかな色（いろ）と、はくりょくあるデザインのじつぶつだいのきり絵がいっぱい。おどろきのどうぶつの世界(せかい)をしょうかいします。
17	 これはのみのぴこ	谷川　俊太郎	絵本のはじまりは、ノミのぴこ。そこからページをめくるたびに、ぴこのすんでいるねこ、そのねこのしっぽをふんだ あきら君と、いろいろな人や生きもの。なんと15も出てきます。さて、つぎのページはなにかな？
18	 サリーのこけももつみ	ロバート・マックロスキー	サリーはおかあさんと、冬（ふゆ）のジャムにする こけももをつみに、こけももやまへ いきました。こぐまもやっぱり おかあさんぐまと、こけももをたべに こけももやまへ いったのです。さて、サリーとこぐまは、山で であったのかな？

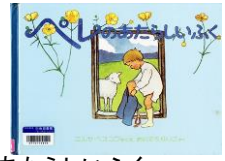
	書　名（小1・2向）	著者	内容紹介
19	 3びきのくま	トルストイ	森でまよってしまった女の子が たどりついたのは、3びきのくまの家でした。るすだとしって中に入った女の子。やがてくまたちがさんぽからかえってくると、家の中のようすがなんだかちがいました。
20	 しずくのぼうけん	マリア・テルリコフスカ	ある日、村（むら）のおばさんのバケツからピシャンと水のしずくがとびだして、たびにでました。ほこりがついてよごれたり、おひさまにてらされてぐんぐん空へのぼったり、さむい夜（よる）にはこおりのかけらにへんしん。ぼうけんはまだまだつづきます。

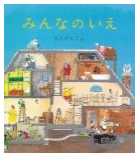
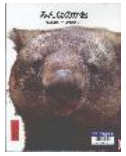
	書　名（小1・2向）	著者	内容紹介
21	 シナの五にんきょうだい	クレール・H・ビショップ	むかし、シナの国（くに）に、そっくりなかおの５人のきょうだいがいました。きょうだいはそれぞれにとくべつなのうりょくをもっていました。ある日のこと、いちばんうえの兄（にい）さんがろうやに入れられてしまうというじけんがおきます。兄さんはさいばんで首をきられることになったのですが…。
22	 ジャイアント・ジャム・サンド	ジョン・ヴァーノン・ロード	チクチク村（むら）に、400まんびきのハチのたいぐんがとんできました。ハチにさされて町は大さわぎ。はたして、ジャイアント・ジャム・サンド作戦（さくせん）で、ハチをたいじすることができるでしょうか？
23	 しょうたとなっとう	星川　ひろ子　星川　治雄	5さいのしょうたは、なっとうがだいきらいです。なつのはじめ、しょうたは、のうぎょうをやっているおじいちゃんと、はたけに、あおだいずのたねをまきました。だいずは、えだまめになり、あきのおわりに、まめになりました。ゆでただいずを“わらづと”につめ、そのままおくと、なんとだいずはなっとうになっていて…。
24	 せかいでいちばんつよい国	デビッド・マッキー	大きな国（くに）の大統領(だいとうりょう)は、大きな国のすてきなくらしをひろめるため、いろいろな国とせんそうをして、せかいじゅうをせいふくしようと思っていました。しばらくたつと、せいふくされていない国は、小さな国ひとつだけになりました。ところが、小さな国にはへいたいがいないので、せんそうができません。
25	 だいくとおにろく	松居　直・再話	ながれのはやい大きな川（かわ）に、はしをかけることになった大工（だいく）。しんぱいになって川をみていると、鬼（おに）があらわれ、目玉（めだま）をよこせばはしをかけてやってもいいと言いました。
26	 ちいさいおうち	ばーじにあ・りー・ばーとん	しずかないなかに、小さいおうちがありました。それはきれいで、じょうぶな家でした。おうちは丘（おか）の上（ですばらしいけしきにかこまれて、しあわせでした。ところがある日、町からおおきな車がきて、広い道路（どうろ）をつくってしまいました。

	書　名（小1・2向）	著者	内容紹介
27	 ＊チョコレートの王さま	マイケル・レーベンサール	バンジャマンのおじいちゃんは、とびきりおいしいホットチョコレートをつくる。でも、買ってくれる人はほとんどいなかった。ある日、とろとろのチョコレートをあたまからかぶってしまったバンジャマンは、国王(こくおう)にであい…。チョコレートのれきしや、ホットチョコレートのレシピなどものっています。
28	 てとてとてとて	浜田　桂子	ては、がっきにもなる。てをたたけば、ほらね、カスタネット。ては、べんりなどうぐにもなる。そして、ては、はなしだってするんだ。ひとつひとつのことばを、てのかたちであらわしてつないでいく。これを「しゅわ」っていうよ。それから、なんだかふしぎなちからも、てにはあってね…。
29	 ＊どうぞめしあがれ！	佐野・ブーゼルダ・マリア	マリアはモロッコというくにでくらしています。にちようび、ともだちのアミンが、アミンのおかあさんがつくった「パスティラ」というりょうりをおすそわけしてくれました。つぎのにちようび、マリアのおかあさんは「きょうはわたしたちがおすそわけしましょう」といって、とりのからあげをつくり、アミンがもってきたおさらにいっぱいのせて…。
30	 としょかんライオン	ミシェル・ヌードセン	ある日、としょかんにライオンがやってきました。でもかんちょうさんは、としょかんのきまりをまもっていれば、いてもいいといいました。ライオンは、まいにちとしょかんにやってきて、おはなしをきいたり、おてつだいをしたりしました。ところが、ある日、かんちょうさんが、たおれてしまい、たすけをよぶため、ライオンはきまりをやぶって大声（おおごえ）をだします。
31	 トビウオのぼうやはびょうきです	いぬい　とみこ	１９５４年３月１日 。アメリカの水素爆弾（すいそばくだん）のじっけんで、たくさんのうみの生きものがしんでしまいました。その中に、トビウオのおやこもいました。トビウオのおやこのかなしいうんめいのおはなしです。
32	 とらとほしがき	パク　ジェヒョン・再話	おなかがへったとらがみつけたのは、うしごやのある小さな家。中では、おかあさんがあかんぼうをあやしていました。泣（な）きやまないあかんぼうにおかあさんは、「泣き声（ごえ）がきこえると、こわいどうぶつがくるわよ」といいますが…。

	書　名（小1・2向）	著者	内容紹介
33	 トラのじゅうたんになりたかったトラ	ジェラルド・ローズ	むかし、インドのジャングルに、としをとってやせこけたトラがすんでいました。きゅうでんでおうさまが、かぞくとなかよくごはんをたべているのをみたトラは、なかまにはいりたくてたまらなくなりました。そこで、トラは「トラのけがわのじゅうたん」のフリをして、きゅうでんにはいることにせいこうします。ところが、あるよる…。
34	 ＊ナージャの5つのがっこう	キリーロバ・ナージャ	きょうしつ、もっていくもの、せんせい、クラスメイト、じゅぎょうのやりかた…。なんで「かいがい」のがっこうって、こんなにちがうの?ロシアのサンクトペテルブルクから、イギリスのケンブリッジ、フランスのパリ、アメリカのウィスコンシン、にほんのとうきょうまで、てんこうせいナージャの5つのたびをえがきます。
35	 歯いしゃのチュー先生	ウィリアム・スタイグ	ねずみのチュー先生（せんせい）はやさしくて、うでのいいはいしゃさん。ある日、むしばのきつねがやってきました。なおしてもらったら、先生を食（た）べてしまうつもりです。しかし先生には、おくさんとそうだんしたとっておきのけいかくがありました。
36	 はじめてのキャンプ	林　明子	なほちゃんは小さな女の子なので、大きい子どもたちとキャンプにいけません。だって、おもいいにもつをもてないし、夜（よる）、こわがるから。でも、なほちゃんは「わたしもいく！」といってききません。
37	 はなのすきなうし	マンロー・リーフ	ひとりしずかに、花のにおいをかいでいるのがだいすきな牛のフェルジナンド。ところが、とうぎゅうの牛をさがしにやってきた男たちが、ハチにさされてとびまわっていたフェルジナンドをあばれ牛と思おもいこみ、つれていってしまいます。
38	 番ねずみのヤカちゃん	リチャード・ウィルバー	ドドさんの家には、お母さんねずみと4ひきの子ねずみが住（す）んでいました。子ねずみのうち3びきは、おとなしくてしずかな子でした。でも、4ひき目は「やかましやのヤカちゃん」とよばれていました。さて、どうしてかしらね。

	書　名（小1・2向）	著者	内容紹介
39	 ひとまねこざるびょういんへいく	マーガレット・レイ	さるのじょーじは、入院（にゅういん）してしゅじゅつすることになりました。病院（びょういん）には、しりたがりやのじょーじが ためしてみたくてたまらないどうぐがたくさんあります。かなしそうな顔をしていた子も、じょーじを見てにっこり！
40	 ＊13800000000ねん きみのたび	坂井　治	むかしむかしのおおむかし、きみはたったひとつぶのげんしだった。きみは、138おくねんというながいじかんをたびして、ちょっとずつすがたをかえながら、にんげんになったんだ。うちゅうのたんじょうから、げんざいにいたるまで、138おくねんのながいたびをたどってみよう。

	書　名（小1・2向）	著者	内容紹介
41	 ふしぎなしろねずみ	チャン　チョルムン	雨（あめ）がふる日のこと、ひるねをしているおじいさんのはなから、かさこそ音が。おばあさんがのぞいてみると、小さなねずみが おじいさんのはなを出たり入ったりしているのです。そのねずみが雨の中をでかけていきます。おばあさんはあとをつけてみました。
42	 ベーコンわすれちゃだめよ！	パット・ハッチンス	お母さんに おつかいを たのまれた。「うみたてたまごが6こと、おちゃに いただくケーキと…」だけど町を歩（ある）いているうちに、「ふといだいこんを6本と、ぼくに いただく ケーブと…」。ぶじに おつかい できるかな？
43	 ペレのあたらしいふく	エルサ・ベスコフ	ペレはたいせつに育（そだ）てたひつじの毛から、あたらしいふくを作ることにしました。いろいろな人にふく作りをたのむかわりに、ペレがその人のしごとのおてつだいをするのです。さて、どんなふくができあがったのでしょうか。
44	 変身（栗林さんの虫めがね）	栗林　慧	地面（じめん）にころがった黒いつぶ、木の枝（えだ）にはオレンジいろのつぶつぶ、これはいったいなんだろう？はっぱの上の毛（け）むくじゃら…？土の中には白いいも虫…？虫めがねみたいなとくべつなカメラでかんさつしてみよう。
45	 ＊ぼくは川のように話す	ジョーダン・スコット	へやのまどから見える松(まつ)の木の「ま」。えだにとまっているカラスの「カ」。朝（あさ）の空（そら）に、ぼんやり白い月の「つ」。ぼくは吃音(きつおん)で、うまくいえない音（おと）がある。みんなのようにしゃべれなくておちこむぼくを、おとうさんは川へつれていった。目の前（まえ）をながれていく川をじっと見ていると、川の水はまるでぼくの話（はな）し方（かた）のようで…。
46	 まちのコウモリ	中川　雄三	夕方（ゆうがた）になると、どこからともなく あらわれて、広い空をヒラヒラと飛（と）びまわるコウモリたち。かれらのなかまはビルの立（た）ちならぶまちにもたくさんすんでいるよ。かれらのくらしぶりをちょっとだけのぞいてみようか。

	書　名（小1・2向）	著者	内容紹介
47	 *みんなのいえ	たしろ　ちさと	まちのはずれにある、だれもすんでいないいえにやってきたたびびとたちは、いっしょにくらしはじめます。はたけをたがやし、レンガをつくってかべをなおし、みんながすわるいすをつくりました。まどがちいさくてくらかったので、かべをこわして、おおきなまどをつくり…。こんないえって、せかいでひとつ。みんなでなおした、みんなのいえ!
48	 みんなのかお	とだ　きょうこ	みんなの顔は、ともだちとちがうよね。お父さん、お母さん、先生（せんせい）ともちがう。動物（どうぶつ）たちの顔もみんなちがうんだって。ほんとうかな？動物園（どうぶつえん）に行ったら、動物たちの顔をじっくり見たくなっちゃうよ。
49	 もりのかくれんぼう	末吉　暁子	公園（こうえん）のかえりみち、おにいちゃんのあとをおいかけて近道（ちかみち）をしたら、そこは見たこともない秋の森（もり）。おにいちゃんを見うしなったけいこは、こころぼそくなって大きな声（こえ）でうたをうたいました。すると…。
50	 ロバのシルベスターとまほうの小石	ウィリアム・スタイグ	ある雨の日、ロバのシルベスターは、ねがいがかなうまほうの小石（こいし）を見つけました。大よろこびで家にかえるとちゅう、ライオンにであいます。さあたいへん！そのあとシルベスターはいなくなってしまいました。ライオンに食べられてしまったのでしょうか？